



無邪気な問い

福島県教育庁相双教育事務所長 山本 秀和

「どうして勉強しなくちゃいけないの？」小学校の教員に成り立ての頃、教室の事務機の周りに担任していた子ども達が集まって雑談していたときの1コマです。何と答えたのかはよく覚えていません。でも、答えにつまづいて「どうしてだろうね？」と質問に質問で返したような気がします。最適解は分からない自分にとって、学校の存在そのものを問う禅問答のような無邪気な問いは、ずっと心のどこかで引っかかっていました。「行きたい高校や大学に行けるからだよ」「なりたい職業につけるからだよ」という回答はどれも違和感がありました。年月が経ち、忘れかけていた中、「君が学べば世界が変わる。支えられるだけの存在から、誰かを支える存在になること」という話を聞きました。進路実現ではなく「学び」そのものに対する答えだと腑に落ちたことを覚えています。きっとその答えは、より広く、より深く物事を理解できることで、人生を豊かにすること。過去は変えられないが、未来は学ぶことで変えられること。今は、厳しい挑戦の時代だけれども、その分たくさんのチャンスにあふれた時代であること。そして「見えないものが、

見えるようになるんだよ」と話することができるかなと思います。「教師の学びと子どもの学びは相似形」と言われています。どの学校においても、教職員、児童生徒ともに新たな気持ちでのスタートを切り、「学ぶ」意欲に満ちあふれている新年度のそれぞれの思いを大切にしながら、学び続ける教職員であってほしいと願っています。

相双教育アピールのキャッチコピーは「未来を拓く教育を 相双から」です。そこでは、目指す教育の基本理念を明確にするとともに、「授業づくり編」では、共通実践事項を「考えを広げ深める『対話的な学び』の充実」と設定しています。各種要請訪問や研修会等では、この相双教育アピール授業づくり編を活用しながら、先生方の授業づくりの支援に当たって参りますので、Web上で紹介している「授業デザイン例」とあわせて、授業改善に活用していただければと思います。教育現場を支える教育事務所を目指し、今年度も所員一同取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度 相双教育アピール（教育理念・授業づくり編）

【「教育理念」について】

社会や生活の在り方に様々な変化が起こる予測が困難な現代社会において、子どもたちには様々な課題に向き合い、社会の大転換を乗り越えながら、新しい未来の姿を構想し実現させていくことが求められています。さらに相双地域では、様々な研究開発が活性化しており、今後、科学技術力や産業競争力の強化を図るための人材育成、多様な背景を持つ人々を受け入れる環境づくりが必要となってきます。

相双教育事務所では、これら時代の要請を相双の教育の充実を図るチャンスと捉え、目指す教育の基本理念を「**主体性をもって 多様な他者と協働し 新たな価値を創造できる人間の育成**」と掲げ、各種施策を重点的に取り上げ推進していくことといたしました。



【「授業づくり編」について】

相双教育事務所では「令和の日本型学校教育」で示されている、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に資するために、先生方と取り組む共通実践事項を以下のように掲げました。

考えを広げ深める「対話的な学び」の充実

特に今年度は、単なる話し合いではなく、自身の考えを広げ深める「対話的な学び」の実現に向けて、先生方と一緒に考えていきたいと思っています。詳細は相双教育アピールをご覧ください。



令和7年度 福島県教育委員会の主な事業

第7次福島県総合教育計画「学びの変革推進プラン」に基づき、全体的な推進を図りながら域内の課題の解決に向けて各種事業を実施しています。相双教育事務所で行っている主な事業を紹介いたします。各事業で授業公開や研修会を実施しますので、ぜひご参加ください。

道徳教育総合支援事業 道徳教育地区別推進協議会

「考え、議論する道徳」への質的転換を図る授業改善を目指し、地域、学校、児童生徒の実態を踏まえた実践研究を行います。令和6年度より、相双地区はいわき地区との共同での開催となりました。推進校である**相馬総合高等学校**の取組を基に、創意工夫を生かした道徳教育を推進するために協議を行い、成果を普及していきます。

不登校・いじめ等対策推進事業 スペシャルサポートルーム(SSR)

不登校及び不登校傾向の児童生徒の居場所づくり、自己実現の支援を目的とした特別な教室(SSR)を設置します。また、SSR等の実践やいじめ防止への取組等の成果と課題を共有し、各校での実践につなげることを目的とし協議会を開催します。いじめ防止ラウンドテーブルでは、**向陽中学校**による実践報告を予定しております。

ふくしま英語力向上事業

令和6年度より継続して「ふくしま外国語教育推進リーダー活用事業」南相馬市をモデル地区とした「小中高連携推進事業」「ふくしまの高校生英語力診断」「英語担当教員エンパワーメント研修」の4つの小事業を推進します。

【推進リーダー】皆川 歩美(新地小) 川村 加奈(桜丘小) 太田しのぶ(鹿島小)

【協力校】原町第一小学校 原町第一中学校 原町高校

超スマート社会を担う産業人材育成事業

本事業の小事業である「専門教育魅力発信応援事業」において、域内の小中学生が専門高校で体験学習を行います。小・中学生が専門高校の授業や実習を体験し、専門高校の学習内容を理解するとともに、将来の進路実現や職業選択への素養を身に付けることができるようにします。

【実習協力校】相馬農業高校 ふたば未来学園高校

ふくしま幼児教育研修センター事業

「生きる力の基礎を育む幼児教育の質の向上と幼児期における資質・能力の育成」を指導の重点に掲げ、年2回の研究公開を予定しています。推進モデル地区に**南相馬市**を指定し、幼児期からの非認知能力の育成を図るとともに、資質・能力を育み、小学校以降の教育へとつなげることによって幼児教育の充実と幼小連携の推進を目指します。

未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業

イノベーション人材育成推進教員の育成と活用を通して、小・中学校の理数教育においてSTEAM教育の視点を生かした授業や探究的な授業を行うことで、児童生徒の理数分野への興味・関心の向上と域内教員への普及を目指します。【算数・数学】鈴木 孝成(原町三小) 横道 喬(鹿島中)

【理科】堀井 脩平(川内小中学園) 渡部 兼介(中村一中)

ふくしまスーパーサイエンススクール事業

再生可能エネルギーや医療、ロボット分野、プログラミングなどの体験型講座等を通して、福島イノベーション・コースト構想に係る職業や産業への興味・関心を醸成するとともに、将来に対する夢や希望を膨らませ、将来の福島を担う人材の育成に向けて裾野を広げます。

【実践協力校】川内小中学園 中村第一中学校

学力向上支援アドバイザー事業

本県全体の傾向として課題が見られる算数・数学について、教員の授業力向上を図り、児童生徒の資質・能力の育成を目指すため学力向上支援アドバイザーを配置します。飯豊小学校、鹿島中学校にアドバイザーを配置します。

【学力向上支援アドバイザー】佐藤 博(飯豊小)
和田 安吉(鹿島中)

今後の主な研修会等の予定(5月～8月)

- 5月22日(木) 小・中学校特別支援教育コーディネーター研修(富岡町文化交流センター)
- 5月23日(金) 教育相談コーディネーター第一次研修会(杉妻会館)
- 6月18日(水) スクールカウンセラー等地区別研修会(万葉ふれあいセンター)
- 6月25日(水) 不登校・いじめ等対策域別シンポジウム(万葉ふれあいセンター)
- 7月4日(金) 教育相談コーディネーター第二次研修会(伊達市ふるさと会館)
- 7月30日(水) 体育・保健体育指導力向上研修地区別研修会(石神中学校)
- 8月6日(水) 学級・授業づくりセミナー(原町第二小学校)

その他、各種研修や協議会の予定については、「令和7年度相双域内行事一覧」及び各開催通知をご確認ください。